

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 632 号	氏名	河井 真理
学位審査委員	主 査 朝比奈 泉 副 査 村田 比呂司 副 査 真鍋 義孝		
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、OSA 患者で表面張力を変化させている内因性の物質の特定を行い、上気道開通性と唾液中の内因性表面活性物質との関係を検討したもので、研究目的として妥当である。 2 研究手法に関する評価 肺サーファクタントの主成分であるリン脂質Phosphatidylcholine (PC) に注目し、内因性サーファクタントの特定を行っている。PC濃度は液体クロマトグラフィー質量分析(LC-MS/MS)で測定を行い、また、PC以外の特異蛋白についてもWestern Blotで検出を試みている。上気道開通性の指標との関係について適切な統計学解析も行われており、研究手法は妥当である。 3 解析・考察の評価 唾液中リン脂質の Phosphatidylcholine (PC) が表面張力低下に大きく関与していることが明らかになった。唾液中 PC 濃度の上昇は低呼吸指数を減らす、無呼吸指数や AHI とは関連がない。以上のことより、上気道粘膜の表面張力は無呼吸ではなく、低呼吸の頻度に寄与することで OSA の重症度を決定していることが示唆された。今回、唾液表面張力を変化させている内因性サーファクタントの特定を行い、無呼吸と低呼吸はそれぞれの気道表面特性より別々の呼吸イベントである可能性が示唆された。 これらの研究結果と考察内容は高く評価でき、今後の研究の展開が期待できる。 以上のように本論文は、OSAの病態に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。			